

建交労大阪府本部情報

大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 電話4800-7115 FAX 4800-8136 2015年6月20日 NO25

労働者派遣法改悪・「戦争法案」強行を許すな 大阪労連が集中行動を配置：12日には宣伝行動



大阪労連は、安倍政権が強行しようとしている「戦争法案」や労働者派遣法改悪などを阻止するため、6月8日から14日を集中行動週間に設定し、宣伝や署名、対話活動を強化することになっています。

12日には、午前8時から府下3ヶ所で早朝宣伝を行いました。淀屋橋（大阪市役所前）で行われた宣伝行動には、大阪府本部から5人が参加。チラシの配布と宣伝カーで市民に訴えました。

「戦争法案」反対がひろがる

学者2700人余が賛同、国会包囲に25000人

自民・公明、維新が派遣法改悪を強行 安倍首相・塩崎大臣に要請書を送付

自民・公明は19日、衆議院本会議において、過去2回廃案になった労働者派遣法の改悪案を一部修正して採決を強行しました。

今回の改悪案は、「臨時的・例外的」な派遣労働について、期限なく恒常的につかうことを可能とするものであり、派遣労働者を「生涯ハケン」とともに「派遣労働者のクビ切り自由化」を狙うものであります。

大阪府本部は6月17日、安倍首相と塩崎厚生労働大臣に対し、執行委員長名で労働者派遣法を拙速に採決しないこと。改悪案を廃案にするよう要請書を送付しました。

「戦争法案」反対の声や闘いが大きくひろがっています。全国の学者 研究者に賛同をつのってきた「安全保障関連法案に反対する学者の会」では、15日の午後3時時点での学者 研究者2678人、市民1819人が賛同しています。「会」では、戦後最大の平和の危機だとして、賛同者をさらにひろげていきたいと語っています。

一方、国会周辺では、「戦争させない。9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が国会包囲行動を実施。25000人が詰めかけ、法案が提出された以降、最大の規模になりました。

「戦争法案」阻止にむけ総力を

大阪労連：第42回評議委員会を開催

大阪労連は6月6日、第42回評議委員会を開催しました。評議委員会では、安倍政権による「戦争する国づくり」阻止と労働者派遣法など労働法制改悪反対のとりくみを軸に、賃上げ・一時金の獲得、雇用の安定を求める闘いなど当面の運動方針を決めました。評議委員会には、大阪府本部から中平書記次長が委員として出席しました。

大阪府本部は、夏から大会にかけての活動方針で「戦争法案」阻止の闘いを最大の課題に位置づけ、全組合員の総力を結集することを呼びかけています。そのために4つの内容を強化していくことにです。

- ①「戦争法案」阻止の闘いを支部・分会・組合員自らの闘いであることを明確にしてすすめること。
- ②「戦争法案」阻止の一点での共同を職場・地域・業種でとりくむこと。
- ③「法案」阻止の宣伝・署名活動を強化すること。
- ④闘争体制の確立をはかること。

非正規ではたらく仲間の第23回全国交流集会

過去最高の500人以上が参加し、活発な討論と交流



「集まろう！語り合おう！手をつなごう！：いのち 雇用 平和をまもるために、一人一人が大切にされる社会 職場をつくっていこう」をスローガンに、非正規はたらくなかまの第23回全国交流集会が6月13日～14日、エル大阪で開催され、全国から過去最高の500名以上が参加し、13の分科会に分かれて活発な討論や交流を行いました。大阪府本部からは、4名が参加しました。

交流集会では、全労連の根本副議長が「23回目の全国交流集会は、過去最高の参加者で成功している。また、大阪のみなさんが5/17住民投票の闘いで勝利したこと。交流集会の成功をめざして奮闘されたことに感謝したい」と主催者あいさつをされました。

トークセッションでは、「生きづらさを克服する働き方へ」をテーマに雨宮処凜さん（作家）と東海林智さん（毎日新聞記者）の対談が行われました。全体集会では、7団体の代表がこの間の運動での成果や教訓について報告されました。

2015年運輸関連集団交渉の調印式

2015年運輸関連集団交渉での調印式が6月19日に国労大阪会館で行われました。調印式には経営側6名、組合側6名が出席しました。組合を代表して山村委員長が「集団交渉は、労使の誠実な交渉で円満に解決ができた。集団交渉で確認した内容にもとづき労使の共同行動を強めていきたい」と挨拶されました。



建交労フェスタ：近畿から20名が参加

6月5日～7日にかけて開催された建交労フェスタには、近畿地方協議会から20名が参加しました。内訳は、関西支部11人、関西合同支部6人、兵庫県本部3人です。近畿地方協議会は、参加者1人につき5000円の補助を行いました。

JMIUビクターの争議勝利報告集会

150人が参加：府本部から森副委員長が挨拶



JMIUビクター支部の仲間たちは6月10日、争議解決報告集会を開催しました。

報告集会には48団体150人が参加。

JMIUビクターアフターサービス分会の10年余にわたる労働者性をめぐる闘いとビクター支部の新垣内さんの継続雇用を求める闘いでの勝利解決を祝いました。建交労を代表して府本部の森副委員長が連帯のあいさつを述べました。

JMIUビクターアフターサービス分会、建設一般合同支部のINAXメンテナンス分会、音楽家ユニオンの新国立劇場労組の闘いは、「個人請負労働者」が労組法上の労働者に当たるかどうか争われた事件で、労働者性をめぐる三大争議として全労連や大阪労連の全面支援のもと、全国的な闘いとして展開されました。

三争議は、いずれも最高裁において労組上の労働者性が認められ、会社の行った団交拒否が不当労働行為であるとの画期的な判決をかちとり、マスコミも大きく報道しました。三争議の闘いは、労働組合運動の歴史に新たな1ページを加える闘いと評価されています。